



写真:オオカメノキの冬芽 (撮影:平成29年12月27日)

「冬芽」

バンザイ

落ち葉を踏みしめる柔らかな感触と、霜柱を踏んだ瞬間のサクサクという独特の音を聞くと、えびの高原にも冬が来たことを実感します。

美しい花や青々とした葉を見られるのは春からですが、冬の間しか見られないものがあります。枝先を見ると、バンザイをしているような、天使が翼を広げたような形のものがあります。これはオオカメノキの冬芽。春になるとぐんぐんと伸び、美しい葉が開きます。冬芽は樹木の種類ごとに色や形が異なり、真っ赤なもの、毛が生えたもの、驚くのはネバネバしたものもあります。それらは寒さを耐えたり、虫や鳥から食べられるのを防いだりするためといわれています。冬芽一つにも木々の生き残るための工夫が見られます。

池めぐり自然探勝路は植物の種類が多く、目の高さほどの樹木も多いので冬芽観察するにはちょうど良いコースです。冬のえびの高原の楽しみ、花のない季節の植物の魅力をぜひ感じてみましょう。
 (文/えびのエコミュージアムセンター)

オオカメノキ
Viburnum furcatum

マツムシソウ目レンブクソウ科